

# 3月3日発売開始!!

この本のことが、ニュースで紹介されます。

NHK新潟放送局／新潟放送(BSN)／新潟総合テレビ(NST)

\* 新潟日報などの新聞でも紹介されます。\*

# 俺、 マジダメかも しれない...

「急性リンパ性白血病」で  
逝った最愛の息子へ

高野由美子=著

定価1260円(本体1200円+消費税) ISBN978-4-88469-565-1 C0095

「敏行、今かなり厳しい状態です。お願いします。メールして励ましてやってください」

母からの切実なメールに、友人たちからの返信は止まらなかった。

大好きなバスケットとバンド、愛車のモンキー、そして愛する家族と友達を残して、  
18歳で旅立った敏行。精いっぱい生きた証を母が綴った愛の記録。



太陽出版 〒113-0033 東京都文京区本郷4-4-14  
TEL: 03-3814-0471 FAX: 03-3814-2366

<http://www.taiyoshuppan.net/>

(この本は返品フリー入帖で扱っています)

\*裏面にこの本が出来上がる過程で起きたドラマをご紹介します。



人切り取り線

書店用注文票

貴店帳合印

注文部

ISBN978-4-88469-565-1 C0095 ¥1200E

太陽出版 TEL 03-3814-0471  
FAX 03-3814-2366  
俺、マジダメかもしれない...  
「急性リンパ性白血病」で逝った最愛の息子へ  
高野由美子

定価1260円  
(本体1200円+消費税)

## 書店関係者各位

### この本が出来るまでのもう一つのドラマ

新潟県加茂市で起きた出来事です。白血病で息子さんを亡くしたご夫婦がいました。昨年、バンドをやっていた息子さんを偲んで追悼コンサートを開きました。さらに今年の追悼コンサートでCDと本を出すことにしました。収益金を「にいがた・骨髄バンクを育てる会」に寄付するためです。そんな矢先、本を出す予定だった新風舎の倒産です。

この一連のことをネットで見ていた元新風舎の社員だった方がいます。居ても立ってもたまれず、長年「共同出版問題」への批判を続けてきた私（高石左京）を訪ねて来られました。私に経緯を話しながら涙が零れ落ちました。その3日後、息子さんを亡くされたお母さんから悲痛なメッセージが届きました。

「3月16日に『出版報告会&記念コンサート』を計画していました。出版できる方向に話が進んでいけば、皆さんに報告できるのですが… せめて一冊でもあれば…」  
「息子が生きていた証をどうしても残しておきたいんです。私の想い、息子敏行の全てをどうしても、一冊の中に閉じ込めたいんです」

「忘れはしないけど、記憶が薄れていくのが怖くて、本にしました。忘れないように毎日必死に思い出さなくても、本を開けば鮮明に蘇る。それでいいと思って本にしました。そうしないと、私が先に進めないでいます」

コンサートまで日にちがない。直ぐにミクシィやブログで呼びかけました。「DTPデータを探して下さい」と。一刻の猶予もない、翌朝、私は新潟へと向かいました。データが見付からない場合、ゼロからやらざるを得ないと思ったのです。その私宛に飛び込んだ電話やメールの数々。ネット仲間や元新風舎の社員さんや外部スタッフだった方々からの連絡です。一気にデータの所在も判明、著者への引渡しの手配も進みました。私が著者の方から最初のメールを頂いて、24時間の間の出来事です。

3月16日のコンサートへ向けて、本とCD制作が急ピッチで進んでいます。次々と元新風舎の社員の方や外部スタッフだった方が協力してくれています。毎日が感動の連続です。その全てをインターネットで報告しています（「俺、マジダメかもしれない」で検索してみてください。毎日1,000人近い方が見に来ています）。新風舎の倒産の陰のドラマです。3月16日に新潟県加茂市で出版記念報告会とコンサートが開催されます。

（高石左京）